

女性リーダー育成プログラム
女性リーダーへの道
履修の手引き



お茶の水女子大学

女性リーダー育成プログラムとは？

- 本学は永い伝統の中で様々な分野におけるリーダーを数多く輩出してきました。しかしながら、女性にとって30才前後には結婚や子育てとの両立に伴う困難さから来る壁があり、40才前後には管理職への昇進に基づく新たな壁があります。

この困難な時期を乗り越えるためには、個人の「資質」を開発し、壁を乗り越える「ノウハウ」を経験者から学ぶことによってリーダーとして活躍できる「パワー」を身に付ける必要があります。



- 本プログラムでは、優れた女性リーダーになるために必要な「資質とノウハウとパワー」を強化・育成するために、
 - 1) 女性が少数派である様々な場において、的確な発言によって自己主張をする訓練、
 - 2) 重要なポジションを得るノウハウの獲得、
 - 3) 優れた女性リーダーとして現在活躍しているロールモデルの方々から、大勢を統率するノウハウの学習、
 - 4) 自ら講演会を企画・運営する訓練、

に関する講義と実習の機会を提供します。

- 本コースにおいて身に付けた「資質とノウハウとパワー」を海外において実践する計画書を提出した履修者の中で、優れた計画を立案した数名を、平成19年度に海外へ派遣する予定です。

どんなことを勉強するの？

〈大学院生対象プログラム〉

(1)アカデミック女性リーダーへの道A/B(基礎編)

ーアカデミック女性リーダーに不可欠な 1)表現と公式文書作成、2) 討論と交渉、3)組織およびネットワーク作りに関する基礎を講義する。これによって、研究計画書を作成して研究費を獲得し、アカデミックポジションの公募に応募して採用されるために必要な基礎知識を学ぶことができる。また、研究に必要な組織作りとネットワークを構築するノウハウを学び、計画実現のために不可欠な討論と交渉に関する基礎も学ぶ。

(2)アカデミック女性リーダーへの道A/B(ロールモデル編)

ー様々な分野で現在活躍中の女性リーダー(ロールモデル)を招き、女性リーダーとなるためのノウハウをこれらのロールモデルの体験に基づいた連続講義によって学ぶ。

(3)アカデミックリーダーへの道A/B(実践編)

ーロールモデルから学んだノウハウを参考にしながら、基礎編の講義内容を実践する。すなわち、研究計画書・アカデミックポジションへの公募書類・講演会や研究会の企画書・インターンシップの計画書等の作成を行う。そして、計画実現のために、粘り強い討論と交渉によって教員によるヒアリングをパスし、優れた評価を得る。以上のような実践的訓練を行う。

※Aは博士後期課程、Bは博士前期課程の授業科目です。

※今年度はBのみ開講するが、博士後期課程の学生もBを履修して、それをAに振り替えて単位を取得することができます。

※博士前期課程の「アカデミック女性リーダーへの道B」の単位は共通科目として修了単位に含めることができるので、各専攻の博士前期課程の修了要件(履修ガイドp.36)に従って下さい。

※博士後期課程の共通科目「アカデミック女性リーダーへの道A」に関しては、全専攻で「2単位を終了単位に含むことができる。(博士前期課程で同科目Bを履修済の場合を除く)」となっています。

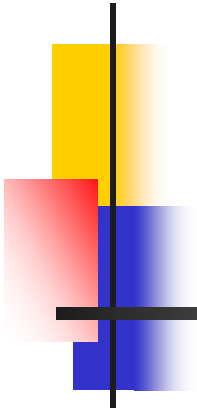
大学院生対象プログラム 科目表

〈基礎編〉

担当者	所属	講義内容	日程
郷 通子 羽入 佐和子	お茶の水女子大学 学長 同大学 副学長	序論 「リーダーとは何か」	7月 21日10:40-12:10 13:20-14:50 24日13:20-14:50
浦島 邦子	文部科学省科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター 上席研究官(工学博士)	「科学技術の政策と動向(環境工学)ー環境工学における研究活動を中心に、科学技術動向を踏まえ、女性科学者の過去現在未来について概説する。	9月13日
治部 眞里	文部科学省科学技術政策研究所 第1調査研究グループ 上席研究官(医学博士)	「科学技術の政策と動向(脳生理学)ー脳生理学の理論的な研究活動を中心に、科学技術動向を踏まえ、女性科学者の過去現在未来について概説する。	9月14日
苅部 直	東京大学大学院法学部 助教授(政治思想史)	日本政治思想史研究の知見をふまえて、「政治的判断力」とは何かという問題を中心に検討する。	9月7日

〈ロールモデル編〉

担当者:	所属	講義内容	日程
坂東 昌子	愛知大学 教授	「女性科学者のリーダーシップ 1)女性と学問と生活 2)人間にやさしい科学ー様々な女性研究者の生き方からー 3)良きリーダーとパートナーシップ」	7月 24日9:00-12:10 25日9:00-10:30
矢口 悦子	東洋大学 教授	「非典型ロールモデルの長所と短所 ー日・英・蘭の比較研究に触れながらー」	7月 25日10:40-16:30
小館 香椎子	日本女子大学 教授	「日本女子大学における女性研究者マルチキャリアパス支援の現状と将来」	9月15日 9:00-14:50
吉川 晴美	東京家政学院大学 教授	「人間として豊かに生きること ー実践・研究・教育・子育ての間で」	9月11日



〈実践編〉

担当者	所属	講義内容	日程
羽入 佐和子	お茶の水女子大学 副学長	様々な実践例にみるリーダーシップ論について考える。	9月下旬
頼住 光子	お茶の水女子大学文教育学部 助教授	倫理学、日本倫理思想史の知見に基づいて、リーダーシップ論について考える。	9月21日
三嶋 輝夫	青山学院大学文学部 教授(政治思想)	古代ギリシャ倫理思想史研究に基づいて、リーダーシップ論について考える。	9月22日
鳥養 映子	山梨大学大学院 医学工学総合研究部 教授	「研究者を続けるために(Ⅰ)」-研究者を続けるために、現在自ら研究室を主宰し、女性研究者の問題について活発に活動している講師による講義と演習	9月26日
石川 正道	東京工業大学大学院総合理工学研究科 教授	「研究者を続けるために(Ⅱ)」-研究者を続けるために、現在自ら研究室を主宰し、永くサイエンスコンサルティングに従事してきた講師による講義と演習	9月27日

コアクラスター

「優れた女性リーダーになろう」

〈学部生対象プログラム〉

(1)女性リーダーへの道(入門編)

—「優れた女性リーダー」となるために必要な「ノウハウと資質とパワー」を強化し育成するために、各界の著名な専門家(論理学・科学哲学・経営倫理・危機管理・日本倫理思想史)による①論理的な思考とディベートによる意思決定の方法②リーダーとして必要な異文化理解・他者理解の方法③危機管理におけるリーダーシップ④日本型組織におけるリーダーシップの課題⑤日本の思想伝統から学ぶリーダーシップ等に関する講義を通じて、多様な角度からリーダーシップについて検討する。それを通じて、受講生を女性リーダーの道へと誘う。

(2)女性リーダーへの道(ロールモデル入門編)

—この講義は、さまざまな分野において活躍している女性リーダーのロールモデル数人による、オムニバス形式の授業である。ロールモデルから女性リーダーとなるノウハウや大勢の人を統率するコツを、その人の体験に基づいて学ぶものである。

(3)女性リーダーへの道(実践入門編)

—ロールモデルから学んだノウハウを参考としながら、入門編の講義内容を自ら実践する、女性リーダーへの実践的入門編である。例えば、実際に新聞等で公募されている企画に応募したり、講演会を立案するなど、女性リーダーとなるためのさまざまな実践訓練を行う。受講者をいくつかのグループに分けて、それぞれのグループが、講演を聞きたい人と交渉し、実際に講演会を企画運営する訓練も行う。

コアクラスター 科目表

2006年度開講科目	学期・曜日	単 位	2007年度開講(予定)科目	単 位
女性リーダーへの道 (入門編)〈必修〉	後期	2	女性リーダーへの道 (入門編)〈必修〉	2
女性リーダーへの道 (ロールモデル入門編)〈選択必修〉	後期・ 集中	2	女性リーダーへの道 (ロールモデル入門編)〈選択必修〉	2
女性リーダーへの道 (実践入門編)〈選択必修〉	後期・ 集中	2	女性リーダーへの道 (実践入門編)〈選択必修〉	2
芸術 I (コア科目基礎講義)	後期・水 3,4時限	2	芸術 I (コア科目基礎講義)	2
法と文学 (コア科目基礎講義)	後期・水 1,2時限	2	哲学 (コア科目基礎講義)	2
現代社会分析 II (コア科目基礎講義)	後期・水 1,2時限	2	現代社会分析 II (コア科目基礎講義)	2
数学パースペクティブ／数学 I (コア科目基礎講義)	後期・月 9,10時限	2	数学パースペクティブ／数学 I (コア科目基礎講義)	2
現代生物学(コア科目基礎講 義)	後期・月 3,4時限	2	現代生物学 (コア科目基礎講義)	2
ジェンダー論 (生活科学部共通科目)	後期・木 3,4時限	2	倫理・宗教 (コア科目基礎講義)	2
			教養の化学／化学 I (コア科目基礎講義)	2
			物理学入門／物理学 I (コア科目基礎講義)	2

【履修上の注意】

(1) 上記科目のなかから、「女性リーダーへの道(入門編)」と、「女性リーダーへの道(ロールモデル入門編)」「女性リーダーへの道(実践入門編)」のどちらかを含む10単位以上を06-07年度内で履修すること。

(2) 〈必修〉〈選択必修〉科目に関して説明会を行うが、日程等は後日提示する。

(3) 〈必修〉科目に加え、〈選択必須〉科目を1科目履修した者に対して、本コースにおいて身に付けた「ノウハウと資質とパワー」を海外において実践する計画書を提出させる。そのうち優れた計画を立案した数名を、平成19年度に海外へ派遣する予定である。従って、4年生は海外派遣候補者になれない。

編集:女性支援室
発行:お茶の水女子大学
2006年7月

連絡先:学務課教務係
03-5978-5141

e-mail : senkyom@cc.ocha.ac.jp